

令和4年度地域運動部活動推進事業 休日の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書（概要）

福岡市

（地域における現状・課題）

福岡市には市立中学校70校に1,000を超える部活動があり、中学生の約7割が部活動に所属している。

部活動指導については、主に教員が行っており、教員の負担軽減、学校の働き方改革は急務である。

また、競技経験や指導経験のない教員が顧問を担う場合もあり、専門的な指導ができる指導員の派遣は生徒にとっても必要である。

（地域移行の推進に向けた体制整備の取組概要）

運営主体：リーフラス株式会社

活動場所：主に高取中学校

指導者：地域指導員（大学生）、運営補助員（大学生）

移動手段：主に徒歩

責任主体：リーフラス株式会社・福岡市教育委員会

活動種目：男子卓球 / 男子ソフトテニス

会費等：徴収なし

保険：徴収なし（スポーツ振興センター災害補償の対象）

※令和4年度は地域クラブ化を見据えた試行として、学校部活動に外部指導者を導入し、保険は、災害共済給付に加入。

（実践研究の成果）

- 約半年間の検証だったが、顧問（教員）の負担軽減及び生徒の活動の質の向上については、かなりの効果が確認できた。
- アンケートを2回実施でき、学校、保護者、生徒の肯定否定双方の意見が収集できた。
- 部活動の地域移行に向けての課題等の調査、整理のためには、協議会の早期立ち上げが必要であると感じた。

（アンケート結果）

アンケート質問項目	回答者	中間（10月） 肯定的回答	最終（2月） 肯定的回答
モデル事業への満足感	学校	83%	100%
教員の負担軽減への効果	学校	83%	100%
地域指導員の指導についての満足感	学校	100%	80%
生徒の様子や取り組み方の変化	保護者	62%	49%
もっと向上したいと思うようになった	生徒	100%	100%
真剣に取り組むようになった	生徒	98%	100%
技術やチーム力の向上の実感	生徒	100%	95%

（運営体制図）

